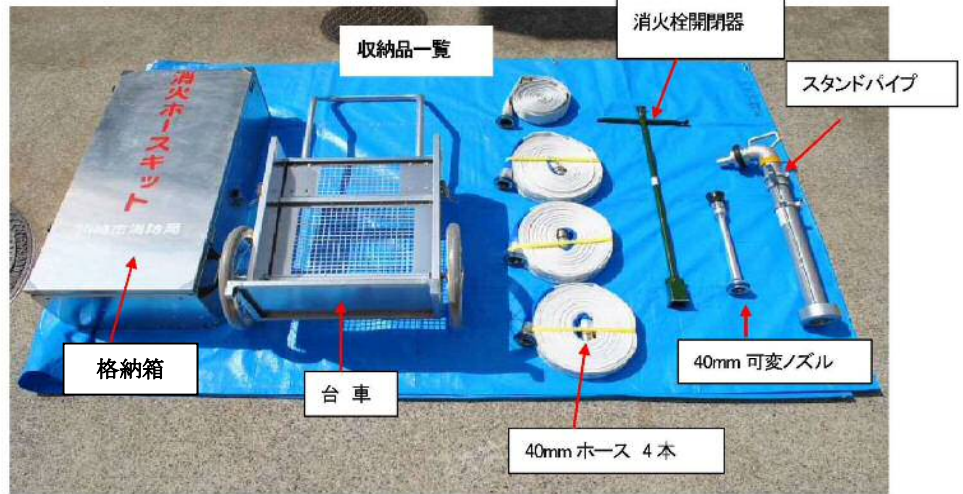


消火ホースキットの使用方法ご存知ですか？

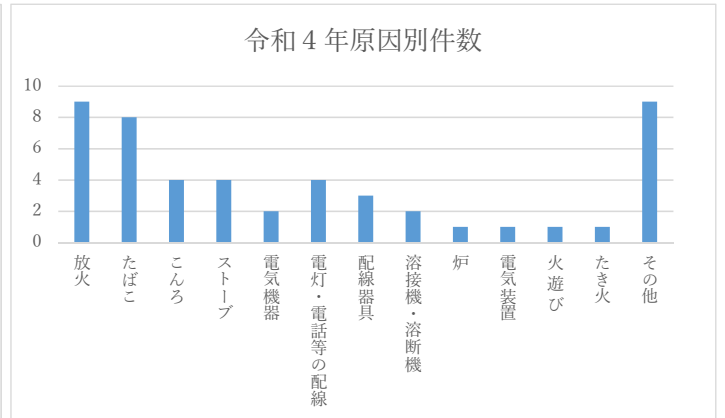
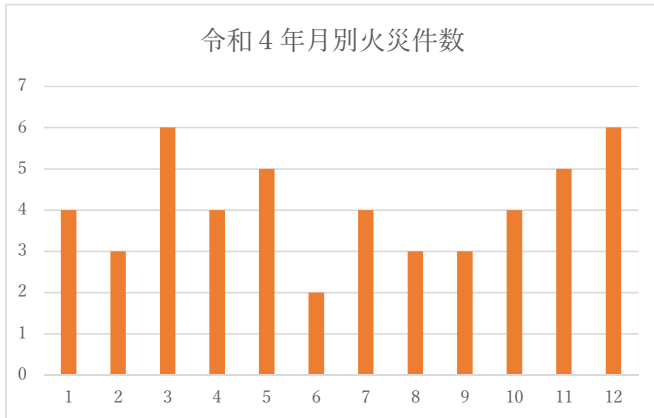
大規模な地震で同時多発的に火災が起きた時は、消防隊が到着できない場合があります。その時、地域住民の皆さんが初期消火の担い手となり、消火ホースキットを活用してもらうことがあります。使用方法をご存知ですか？消火ホースキットとは、消火栓に直接接続して初期消火を行うための資器材を台車に積載した移動可能な消火器具です。収納されている直径40ミリの消火ホースや筒先は、消防隊が使用しているものよりも細くて軽いことから、だれでも容易に取り扱うことが可能です。消火ホースキットは、**市内の小中学校等の避難所 175箇所**に配備が完了しています。この消火ホースキットを活用し、地域住民が初期消火活動にあたることで、火災による被害を軽減することが期待されています。



令和4年の火災・救急概況

川崎消防署管内の火災件数は49件で、前年より2件増加しました。火災原因別に見ると、1位放火、2位たばこ、3位こんろ、ストーブとなっております。

また、市内の火災件数は345件で署別件数は、臨港署40件、幸署36件、中原署49件、高津署53件、宮前署40件、多摩署47件、麻生署31件でした。



川崎消防署管内の救急件数は9853件で、前年より1606件増加しました。市全体では84776件となっており、前年より14893件増加しました。

